

令和3年度 産業技術連携推進会議  
近畿地域部会 第15回デザイン分科会

議事録

1 日 時 令和3年12月23日(木) 15:00~17:00

2 開催方法 Webexによるオンライン開催

3 主 催 国立研究開発法人 産業技術総合研究所、大阪府産業デザインセンター

4 参 加 8機関、参加者14名

5 挨 拶 産業技術連携推進会議近畿地域部会デザイン分科会長  
大阪府産業デザインセンター センター長 森口 昌彦

6 議 事

①各機関の事業、活動報告

・取組事例、課題など各機関より報告

1. 産業技術総合研究所関西センター

- ・令和3年度の産技連総会は、2月9日にウェブ会議で開催予定。なお、近畿地域部会総会は、3月中~下旬に予定しており、オンラインもしくは書面開催にて行う。
- ・産総研関西センターの主催イベントとして、来年2月15日に第7回電池技術研究部門フォーラムを開催予定。基調講演にソフトバンク先端マテリアル研究室室長の西山氏を招き、次世代高密度電池の研究開発について紹介する。

2. 京都府中小企業技術センター

- ・「グッドデザイン賞+iFデザインアワード応募説明会(4/22)」をリアルとオンラインの併用で開催した。参加者31名(うちWeb参加23名)  
説明会の動画はこちら <https://www.kptc.jp/seminor/210422ifhoukoku/>
- ・「iFデザインサロン in 京都(9/28)」オンライン開催により、応募希望者からのミニプレゼンと審査員の視点から見たiFデザインアワードのアドバイスがあった。参加57名のうち京都府内からは4名参加、Web参加の特徴が出た。
- ・KYOTO DESIGN WORK SHOW(R4.2/17-18)京都パルスプラザにて開催予定。出展デザイン事務所は6社。

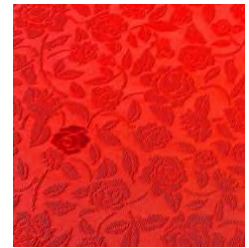
3. 滋賀県東北部工業技術センター

今年度、繊維系のデザイン研究員を新規採用した。皆さんよろしくお願ひします。

- ・ものづくり技術高度化事業の一環として、「地域繊維技術を生かした高付加価値繊維製品の開発(R2-R4)」を実施中。島精機製作所のニットマシンを導入し、綿・麻・絹を編物(ニット)製品にする技術研究を継続中。
- ・「テキスタイルトレンドセミナー 2023SS(12/3)」を開催。テキスタイルデザイナーの梶原氏を招き、2023春夏のトレンド情報と商品開発のヒントを解説、個別相談会も実施した。

・研究成果・指導事例<輪奈ビロード柄の提案>

輪奈ビロードは着心地が軽く、絹糸のループが柔らかな手触りを生み出し、長浜では和装コートや鼻緒用が作られ、滋賀県の伝統的工芸品に指定されている。今回、カードケースなどの小物用の今風の織柄を展開したい(株)タケツネの依頼によりデザインを行なった。



4. 兵庫県立工業技術センター

- ・兵庫県最先端技術研究事業 (COE プログラム)「健康/運動/生活データの統合・解析・シミュレーションによる健康増進システムの開発」を実施 (R2-R3)。健康診断・体力測定・生活データの統合化と、AIによるデータ解析・運動シミュレーション・システム分析・ビジネスモデル研究の適用により、革新的な健康増進システムを開発する。
- ・企業が自力では実施困難な研究段階での試作や本格的な研究に進む前段階における見極めのための実験をテクノトライアル事業として研究員が行っている。(R3年3件実施)
- ・科研費助成事業「健康長寿社会のための筋骨格モデルにもとづくエクササイズ GUI デザイン」(R3-R5)。高齢者が健常な状態から要介護状態になるまでの中間的な段階(フレイル)において、運動解析に基づいた効果的な GUI デザインについて研究する。

5. 地方独立行政法人京都市産業技術研究所

- ・令和3年度の組織改編により、デザインチームは知恵産業融合センター内に設置。
- ・【重点研究】「デジタル技術応用による伝統産業適したデザイン開発手法の研究と普及事業」では、令和4年2月に「伝統産業×デジタル Fab (ファブリケーション)」及び「伝統工芸職人・作家のため SNS・WEB 活用セミナー」をリアル&Web で実施予定。
- ・「京もの担い手プラットフォームを活用した支援」ではポータルサイトを使い、伝統産業の担い手への支援情報の提供、メンバーのPR・プロモーション等を通じて、京もの活用企業のニーズを喚起し、京都の伝統産業の技術継承及び振興と発展を目指している。(メンバー登録 53 名、情報提供 90 件 R3/11 時点)
- ・「京都市内店舗での展示販売支援<伝統産業の若手担い手支援>」永楽屋喫茶室や MOCAD オンラインショップ等での若手作家の作品販売を支援。

6. 福井県工業技術センター

- ・「UVプリンターによる蒔絵技術の開発」紫外線硬化プロセスを利用した木材・金属・ガラス・モルタル基材へのレリーフ作成と蒔絵加飾による試作品の作成。(3年目)
- ・「デザインコネクト事業」業界のニーズに応じて4つのテーマでオンライン講座を開催。テーマ毎に講師を招き、ナビゲーターによる解説を行う。(4回)
- ・「産業デザインプロデュース事業」具体的課題を有する企業に対し、デザイナー派遣やグループカウンセリングにて指導を行う。(延べ20回)
- ・「福井ものづくりキャンパス教室運営事業」。ものづくり産業の振興や人材を育成するために、ものづくり企業関係者、職人、学生など幅広い層を対象にした講座・教室を開催、施設のPRも行う。ものづくりラジオ(10回)、体験教室(6回/69名)、伝統工芸品の展示 全5回(9月-2月)

7. 大阪府産業デザインセンター

- ・「デザイン総合相談事業 (D-チャレンジ)」コロナ禍によりオンライン相談が中心となり、相談企業数は前年比 19.1%減少。相談件数 106 件 (うちホームページ無料診断は 39 件) (11 月末時点)
- ・「大阪府デザイン・オープン・カレッジ事業」コロナ感染症の拡大防止を踏まえフォーラムのみをオンライン開催 (有料動画の視聴) として実施。講師 (株)ウサギ高橋晋平氏。「欲求起点で考える新商品・新サービスの作り方」(受講者 52 名)

・「デザイン開発支援研究」＜開発支援研究事業＞①BMBサイトの更新（CMSを最新バージョンにしたBMB8を5月に公開）。②「中小企業のデザイン経営」コンテンツ動画を制作し、ものづくり中小企業へのデザイン経営の普及啓発ツールとして活用。

＜交流事業＞ORIST&BMB第48回勉強会「AIを活用した故障対策の初歩」（オンライン開催／参加52名）ORIST&BMB第49回勉強会「Web事業者がホンネで語る！Webサイト制作・運用・集客の基礎知識」（R4.2.22開催予定）

## ②意見交換

- ・上記の活動報告に関連して、業界の反応や運営方法など意見交換があった。
- ・ **こらぼんWEBの在り方**  
産技連ライフサイエンス部会デザイン分科会のサイトにデータを移行済み。  
今後はデザイン分科会のSNS等を活用して情報発信を継続する。
- ・ **design-kinkiのメーリングリストについて**  
参加者が限定されており、メーリングリストを使わなくても連絡は可能。
- ・ **デザイン専門員がいなくなる府県のデザイン分科会への関わり方**  
機関としての輪番制から外れるとしても、オブザーバーとしての個人参加は承認。  
（当面、奈良県が本ケースに該当）

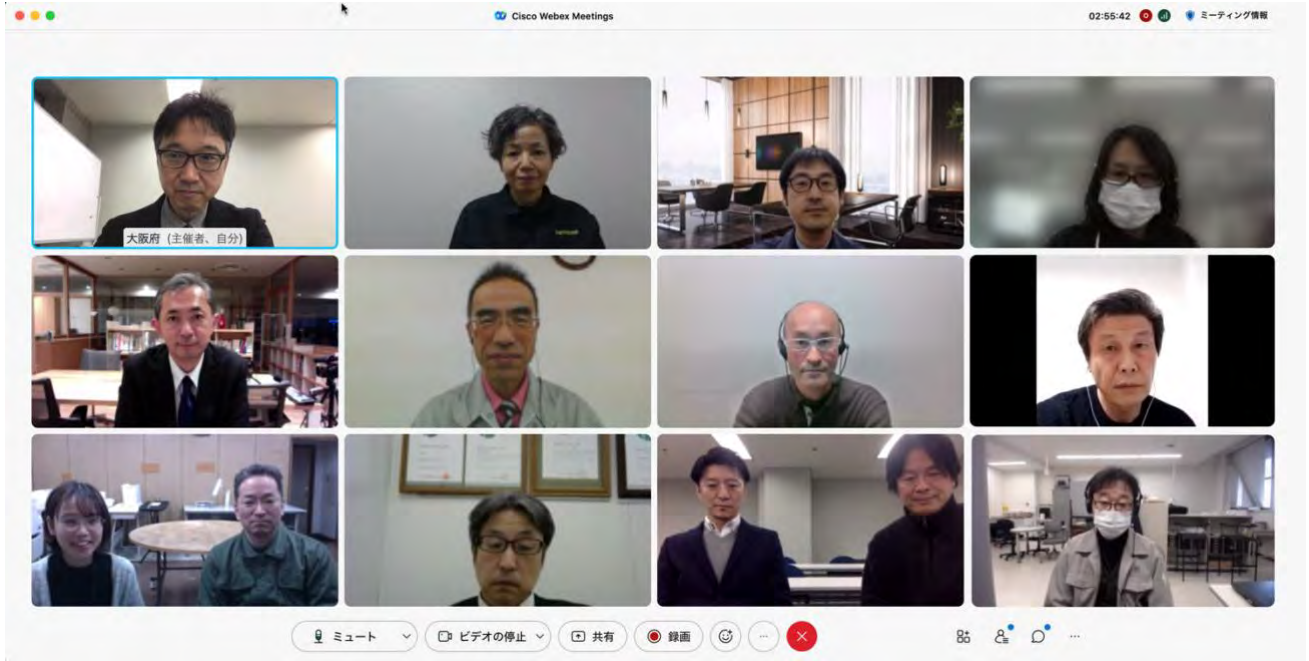
## ③近畿地域部会デザイン分科会について

- ・ 令和3年度活動報告  
別紙1により活動報告の承認
- ・ 令和4年度事務局の選任  
近畿地域部会デザイン分科会運営要領に基づいて京都府の承認
- ・ 令和4年度活動方針（案）について  
別紙2により活動方針の承認

- 7 話題提供 「DXからVXへ メタバースは本当に来るのか？」  
～コロナが産んだバブル？次世代のブルーオーシャン？～  
大阪府産業デザインセンター コーディネーター 小山 啓一

中央集権型のWeb1.0やWeb2.0から、よりセキュリティ性の高いWeb3.0と呼ばれる分散型ネットワークへの移行により、ブロックチェーン技術を核とする仮想通貨やNFT（非代替性トークン）の活用による新たな価値の創造からメタバース（仮想空間）による人と人のコミュニケーションに至るまで、きたるべき未来における最先端の社会動向についてお話しいただいた。





以上